

虹のかけはし

〒528-0074

滋賀県甲賀市水口町松尾 1256 番地

TEL: 0748-62-0234(代) FAX: 0748-63-0588

<http://www.kohka-hp.or.jp/>



【新任のご挨拶】



外科部長

石川 原



～守護霊が！(笑)～



私は近畿大学医学部を卒業後、同大学の外科に入局し、令和5年3月まで近畿大学で勤務しておりました。専門は肝胆膵外科です。いずれは地元・滋賀に戻ろうと考えており、令和5年4月からは滋賀医科大学に勤めさせていただきます、本年4月より滋賀医大外科から派遣されて参りました。

最近、消化器外科の世界では「若手外科医の減少」が話題です。消化器外科学会のHPにも一般向けのメッセージ「国民の皆様へ」が掲載されています(<https://www.jsgs.or.jp/news/citizen/1914/>)。自己紹介にかこつけて、少し個人的な感想を述べさせていただきます。誤ったことは書いていないと思いますが、一般の方に向けた発信としては、「泣き言」や「脅し」のようにも感じられます。まず、現状に対する自己検証や反省がありません。「俺たち良くやってるよなあ」「そうだ！ そうだ！」「金をくれー」としか読めません。働き方改革、男女共同参画、子育て支援などのワードも登場しますが、「とりあえず流行語を並べてみました」感が否めません。私は違う意見を持っていました。15年ほど前、大学医局で「スーパースター養成コース」という、若手が早くから活躍できる育成案を出したことがあります。反応はほとんどありませんでした。消化器外科が敬遠される背景には、近年は改善傾向にありますが、若い医師が輝ける環境が乏しかったことや、医局文化の古臭さもあると感じています。時代の流れとともに外科治療の社会的な重要度自体が相対的に下がっているとも感じています。

ちなみに私は開業医の息子で、実家を継げばいいやという軽い気持ちで外科に進み、気がつけば30年近く経ちました。「そろそろ辞めようかな」と思いつつも、選択を迫られるたびに継続としてきました。以前勤務していた病院に「守護霊が見える」という看護師さんがいて、あるとき私にも見えるか聞いてみました。「一人は女性で、もう一人は少し離れたところにいる、あなたが仕事をする時に入り込んでいるように見えます」と言われました。その「霊」が手術好きで、私を辞めさせてくれなかったのかもしれない。

近畿大学では、大学病院でありながらも個人病院的な側面があり、真に献身的に仕事をするのは難しく感じておりました。そのような中で、地域の基幹病院である公立甲賀病院に勤務する機会をいただきました。精一杯尽力してまいります。どうぞよろしく願いいたします。

入退院支援センターのご案内

地域医療連携部 入退院支援センター



2019年10月に入院支援業務がスタートし、2020年6月に入退院支援センターが開設され5年が経過しました。入退院支援センターでは予定入院が決まった患者さん、ご家族の方が「安心・安全」に入院していただけるように、

- ・パンフレットを用いて入院時の持ち物や入院生活の案内
 - ・手術や検査の時に休薬が必要な薬剤を確認し、必要時には休薬の説明
 - ・入院前の生活状況の確認、介護保険の認定がある方は介護度やサービスの確認
 - ・必要時には多職種(管理栄養士や社会福祉士、がん相談など)に連携をとる など
- 様々な業務を担っています。その中で、昨年度より新しい取り組みがスタートしたので紹介致します。



AI 問診(タブレット入力)の導入



入院することが決定した患者さんは、外来受診後に入院支援センターへお越しいただきます。センターでは患者さんが来られると外来からの申し送り事項を確認し、入院前面談の準備をしますが、これまではその準備の間、患者さんに待ち時間が生じていました。

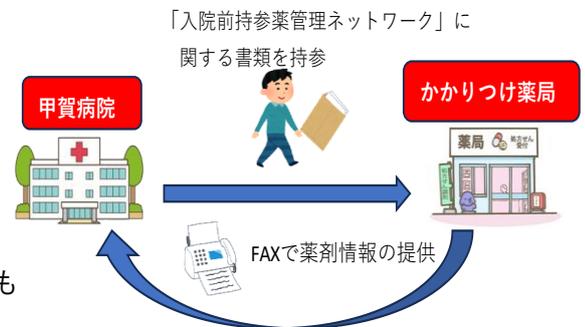
2024年11月からは、AI問診を導入し、その待ち時間に患者さんにADL状況や既往歴などをタブレットに入力して頂くことになりました。これまでは面談中にお話しをしながら聞き取りをしていた情報を、事前に入力して頂くことで、待ち時間の有効活用と、情報の聞き取りに使っていた時間を、患者さんの思いや不安等の聞き取りにあてられるようになりました。AI問診導入で、より患者さんに寄り添った面談ができるようになってきているのではないかと思います。

保険調剤薬局さんとの連携～入院前持参薬ネットワーク～

予定入院が決めた患者さんに対し、入院前にかかりつけ薬局で手術や検査におけるリスク薬の確認と持参薬の調整等をおこなっていただく取り組みを保険調剤薬局・当院薬剤部・入退院支援センターが連携し2024年3月からスタートしました。

保険調剤薬局の介入により、リスク薬の休薬漏れの未然防止や、入院時の持参薬鑑定の時間短縮など、患者さんだけでなく病院としても大きなメリットがありました。

患者さんには入院前に薬局に行ってくださいと手間が増えますが、地域と連携をとりながらより「安心・安全」に治療を受けて頂けるように今後も取り組んでいきます。



編集後記



本号もご覧いただきありがとうございます。

我が家では5年前よりメダカ鉢でメダカの飼育をしています。夏の暑さや冬の寒さにも負けず、今年もたくさんの卵を生み、稚魚もかえってきました。メダカは品種改良がされ、キラキラ ✨ した子。ヒレの長い子。など今では500種類以上の品種がいるそうです。

我が家は「夜桜」という品種ですが、色々な色の子がおり見えて飽きません。

ちなみに緑色の丸い物体はタニシです。コケがびっしりと生えてしまい、見た目マリモになってしまっています…。

これからも暑い日が続きますが、皆様お体に気を付けてお過ごしください。(夏場はメダカの水替えに追われるT)

